

2024 年度愛知県新体育館整備・運営等事業の取組状況について

本資料は、株式会社愛知国際アリーナが作成した事業報告書の記載を基に、愛知県としての分析・評価等を追加したものです。

1 事業概要

(1) 目的

愛知県体育館は、夏の風物詩にもなっている大相撲名古屋場所の開催などを通じて、半世紀以上にわたり県民に親しまれてきた施設であるが、老朽化とともに規模・機能がスポーツの国際大会を開催するための国際基準を満たしていない。

このため、2026 年のアジア競技大会・アジアパラ競技大会を始めとした国際大会に利用できるよう、愛知県新体育館の整備を進める。

整備から運営まで民間のノウハウや創意工夫を最大限に活用する PFI 手法を導入し、スポーツやエンターテインメントのコンテンツを呼び込み国内外からの多くの集客につなげるとともに、県民のスポーツ・文化活動の拠点として「愛知・名古屋のシンボル」となる世界最高レベルのスマートアリーナとする。

(2) 事業手法

事業方式	PFI 手法「BT コンセッション方式」
事業期間	設計・建設：2021 年 6 月から 2025 年 3 月（3 年 10 ヶ月間） （一部外構工事は 2025 年 6 月 30 日まで） 維持管理・運営：2025 年 4 月から 2055 年 3 月（30 年間）
事業者名	株式会社愛知国際アリーナ
代表企業	設計・建設時：前田建設工業株式会社 維持管理・運営時：株式会社 NTT ドコモ

2 施設の概要

施設名	愛知国際アリーナ（愛称：IG アリーナ）
所在地	名城公園北園の一部（名古屋市北区名城一丁目地内）
設置根拠	愛知県スポーツ施設及び社会教育施設条例
設置目的	スポーツの振興及び県民の文化的教養の向上を図る
供用開始	2025 年 7 月 1 日
諸元	敷地面積：約 46,000 m ² 建築面積：約 26,500 m ² 延床面積：約 63,000 m ² 階層：地上 5 階建 最高高さ：41.0 m 最大収容人数：17,000 人（立ち見含む）
施設構成	メインアリーナ：約 4,600 m ² サブアリーナ：約 2,600 m ²

3 2024 年度の業務別の主な取組内容

(1) 建設業務

ア 業務概要

施設の建設及びそれに伴う法令等で必要とされる手続きを行う。

イ 主な取組内容

- ・メインアリーナ部分の屋根工事及び内装工事、サブアリーナ部分の屋根工事及び内装工事、ペDESTリアンデッキ工事や外構工事を実施し、2025 年 3 月に竣工した。
- ・工事完了に向けて、法令で必要とされる申請・届出を適切に処理し、2025 年 3 月に施設を県に引渡した。
- ・ユニバーサルデザインについては、施工段階及び竣工段階で関係団体の現場確認及び意見交換を実施した。
- ・配筋など施工上の不具合が 4 件発生し、うち 2 件に対して是正指導を受けたが、適切に是正措置を行った。
- ・設備・備品の内容及び数量について精査を行い、一部の備品について設置及び検査を行った。

【愛知県による分析・評価】

工程表の予定通り建設工事が進められ、2025 年 3 月に竣工し、引渡しを受けた。また、工事に関連する監理業務については、毎月の連絡会議で監理報告が行われるとともに、ユニバーサルデザイン対応が適切に実施されるなど、適切に業務が進められた。

一方で、2023 年度に引き続き、2024 年度においても、施工不具合の報告があった。これに対しては適切な措置が講じられ、再発防止策も実施された結果、品質や工期への影響はないとの報告を受けている。

今後の維持管理業務においては、同様の不備が起きないように、適切に取り組むこと。また、ユニバーサルデザイン対応について、維持管理・運営期間においても関係者と適宜意見交換を行いながら、適切に対応していくこと。

(2) 開業準備業務

ア 業務概要

施設の整備後、速やかに施設の維持管理・運營業務に移行できるよう、開業に向けた各種準備を行う。

イ 主な取組内容

- ・興行利用の予約受付開始に向け、施設利用時の運用方法や予約の申請手続など規約内容を再整理し、2024年6月に利用規約を更新し、WEBサイトに掲載した。
- ・運營業務及び維持管理業務の業務計画を策定し、2025年2月に県に提出した。
- ・危機管理マニュアルやBCP計画等の防災計画を策定した。
- ・予約管理体制を確立した。
- ・WEBサイトをリニューアルし、施設の利用受付等の案内を掲載した。
- ・デジタルパンフレットの作成やSNSへの定期的な投稿など、プロモーション活動を実施した。
- ・名城公園関係者の連絡会議に出席するなど、行政等と情報交換を行った。
- ・オープニングイベントについて県と連携して準備を進めた。
- ・興行時にアリーナ周辺で予想される混雑等による周辺への影響について調査を行い、開業後の運用について関係各所との調整を行った。
- ・イベント営業活動を推進した。
- ・大相撲及びバスケットボールの定常興行開催に向けて具体的な協議を実施した。
- ・ネーミングライツパートナーの具体的なアクティベーション企画検討を実施した。
- ・Suite/プレミアム商品の企画・検討を行い、2025年1月からホスピタリティ営業活動を実施した。
- ・ホスピタリティ飲食サービス及び一般飲食サービスと契約を締結するとともに、店舗工事、オペレーション、提供メニュー等を検討した。
- ・ICT機器の調達及び工事を行った。

【愛知県による分析・評価】

利用規約の更新、予約管理、飲食サービスなど、開業に向けた多岐にわたる準備が着実に進められた。

イベント誘致については、2024年6月に名古屋ダイヤモンドドルフィンズのホームアリーナになることが発表されるなど、大相撲及びバスケットボールの定常興行開催に向けた準備が着実に進められた。

また、スポンサーの獲得が意欲的に進められ、固定収入の確保による施設運営の安定化に資する取組が進められている。

今後も、安定的かつ円滑な施設運営に向け、確実に業務を推進すること。

(3) 統括マネジメント業務

ア 業務概要

本事業全体を安定的かつ円滑に進捗させるため、業務全体の一元的管理を担い、実施体制の構築や各業務間の調整、組織全体の予算管理や監査・決算などの総務・経理業務、ガバナンス業務を実施する。

イ 主な取組内容

- ・代表企業の変更に伴う統括管理責任者の変更に向けて、新統括監理責任者を選任した。
- ・事業計画及びこれを踏まえた世界有数のアリーナにふさわしい年間スケジュールや誘致計画を策定し、実施に向けた体制を構築した。
- ・高いホスピタリティサービスの提供を伴う利用者サービスを企画し、実施に係る契約の仕様を作成した。
- ・運営開始に向けた KPI（重要業績評価指標）を策定した。
- ・2023 年度業務報告書（財務の諸報告を含む）、2024 年度中間決算報告書及び 2025 年度業務計画書（財務の諸計画を含む）を作成し、県に提出した。
- ・文書規定に基づき、受領及び作成した文書等の整理・保存・管理を行った。
- ・建築物台帳・設備台帳・備品台帳を作成した。
- ・特定事業契約に基づき、2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの資本金及び資本準備金の合計額を 2,200,000,000 円以上に維持した。
- ・法人役員等の変更に伴う履歴事項全部証明書及び株主名簿の写し、金融機関との融資契約や維持管理業務委託契約、運営実施業務委託契約の契約書の写しなど、必要な書類を県に提出した。
- ・ガバナンス実施計画書に基づきセルフモニタリングを実施し、毎月の連絡会議において県に報告した。

【愛知県による分析・評価】

代表企業の変更に係る手続を始めとした開業に向けた体制構築や、事業計画、年間スケジュール、誘致計画の策定などが着実に行われた。

その他、モニタリングに必要な書類の提出や、経理・総務業務も適切に行われた。

今後も、本事業が安定的かつ円滑に実施されるよう、全体を俯瞰する立場から業務間の調整等を適切に行うこと。

4. 本事業におけるガバナンスについて

(1) ガバナンス体制について

県と事業者で合意した特定事業契約上のガバナンス基本計画に基づき、重層的な会議体を設置している（下図のとおり）。

事業者は各業務の実施状況のセルフモニタリングを行い、結果を会議体の場で県に報告する。県は、報告内容の確認や現地確認等により、要求水準書の内容を満たしているかモニタリングし、必要に応じ、是正措置（注意、是正指導、是正勧告）やペナルティポイントの計上、違約金の請求を行うこととしている。

また、外部統制の仕組みとして、複数の有識者により構成する第三者機関を設置し、客観的な立場から県と事業者の協議促進、相互信頼の構築・回復を図るための助言を受けることとしている。

【図：会議体について】

会議体名	参加者	開催頻度
協議会	・ 県スポーツ局長 ・ 代表取締役社長	年一回以上（随時開催）
事業調整会議	・ 県スポーツ局愛知国際アリーナ課長 ・ 代表取締役社長	半期に一度程度
連絡会議	・ 県スポーツ局長が指名するもの ・ 代表取締役社長が指名するもの	月一度程度

(2) 実施状況

連絡会議を建設業務と運營業務に分け、毎月各1回開催するとともに、協議会を2回、事業調整会議を1回開催し、各業務の実施状況や課題について確認した。

また、第三者機関による協議会に対するヒアリングは1回開催された。事業者から2023年度の取組状況並びに2024年度の業務計画及び進捗状況を報告するとともに、第三者機関の各構成員から、事業に関する意見や助言を受けた。

その他、建設業務における施工上の不具合について、2件の是正指導が行われた。

【愛知県による分析・評価】

ガバナンスに関する取組については、年間を通じて適切に行われた。

2024年度中に2件の是正指導が行われたが、是正指導後の対応は適切に実施されている。このような事案が発生しないよう、引き続き適切なガバナンスに努めること。

なお、是正指導より重い是正措置である是正勧告に該当する事案はなかった。

5. 愛知県による年間総評

2024 年度は開業までの準備段階の最終年度であり、施設の建設工事が着実に進められ、2025 年 3 月末に竣工し、県への引き渡しが行われた。また、開業に向けて一層の体制強化が行われ、定常興行誘致や利用規約、予約管理、飲食サービスなど、多岐にわたる準備が着実に進められるなど、施設整備と開業準備の両面の総仕上げが着実に進んだことが確認できた。

全体としては順調に事業が推進されているところではあるが、引き続き世界トップレベルのグローバルアリーナの実現に向けて、各構成企業が有する強みを十分に発揮して、事業を推進すること。

【総合評価】

概ね期待どおりの水準で施設運営がなされている。（「愛知県指定管理者制度ガイドライン」で示された評価基準（4 段階評価）のうち 2 番目に高い評価に相当。）



外観（2025 年 5 月撮影）